



平成29年12月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年4月28日

上場会社名 マブチモーター株式会社
 コード番号 6592 URL <https://www.mabuchi-motor.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大越 博雄
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 伊豫田 忠人
 四半期報告書提出予定日 平成29年5月12日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 047-710-1127

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年12月期第1四半期の連結業績(平成29年1月1日～平成29年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年12月期第1四半期	37,032	6.1	6,953	18.1	6,931	58.2	5,443	48.6
28年12月期第1四半期	34,893	2.4	5,887	4.9	4,380	24.1	3,662	21.9

(注) 包括利益 29年12月期第1四半期 2,879百万円 (%) 28年12月期第1四半期 4,681百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年12月期第1四半期	79.86	79.82
28年12月期第1四半期	53.12	53.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年12月期第1四半期	248,384	225,595	90.8
28年12月期	258,387	232,917	90.1

(参考) 自己資本 29年12月期第1四半期 225,484百万円 28年12月期 232,807百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年12月期		44.00		76.00	120.00
29年12月期					
29年12月期(予想)		51.00		52.00	103.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 配当金の内訳

平成28年12月期特別配当 第2四半期末29円00銭 期末61円00銭
 平成29年12月期(予想)特別配当 第2四半期末36円00銭 期末37円00銭

3. 平成29年12月期の連結業績予想(平成29年1月1日～平成29年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	71,400	2.7	10,700	10.1	11,200	34.8	7,800	32.2	115.19
通期	144,000	2.3	21,600	10.8	22,500	13.9	16,600	19.4	246.15

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	29年12月期1Q	69,927,562 株	28年12月期	69,927,562 株
期末自己株式数	29年12月期1Q	2,355,588 株	28年12月期	1,558,170 株
期中平均株式数(四半期累計)	29年12月期1Q	68,163,450 株	28年12月期1Q	68,941,503 株

(注)平成29年12月期1Qの自己株式数には、従業員持株ESOP信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数94,400株及び119,600株)を含めており、平成28年12月期の自己株式数には、従業員持株ESOP信託及び役員報酬BIP信託の保有する当社株式数(期末自己株式数98,700株及び119,600株)を含めております。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における業績予想に関する記述は、現時点において入手可能な情報に基づいております。また、業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	P. 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	P. 7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報)	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間(平成29年1月1日～平成29年3月31日)における世界経済は、先行きの不透明感があるものの、総じて底堅く推移しました。米国経済は、堅調な個人消費と雇用や所得を取り巻く環境の着実な改善が続きました。欧州経済は、緩やかな景気の回復基調が続きました。我が国経済は、雇用環境の改善が個人消費を下支えしたものの、景気は力強さを欠く状況で推移しました。新興国経済については、中国経済は景気刺激策によって堅調に推移したものの、全体としては低成長が続きました。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、全般に堅調な需要が継続しました。民生・業務機器市場は、安定的な需要が続きましたが、一部の用途で市場縮小が継続しました。

このような景況下、当社のモーター販売実績は、数量で前年同期比6.6%の増加、金額では前年同期比6.1%の増加となりました。また、期初における第1四半期計画に対しては、数量で3.8%の増加、金額で6.0%の増加となりました。これらの結果、当第1四半期売上高は370億3千2百万円(前年同期比6.1%増)となり、その大半を占めるモーター売上高は370億2千7百万円(前年同期比6.1%増)となっております。

営業利益につきましては、将来の成長を見据えた人材やITへの投資拡充による販売費及び一般管理費の増加や、前年同期比で為替レートが円高で推移したことなど減益要因があったものの、販売数量の増加やプロダクトミックス改善などの増益要因がこれを上回り69億5千3百万円(前年同期比18.1%増)となりました。経常利益は前年同期比で為替差損が減少し69億3千1百万円(前年同期比58.2%増)となりました。税金等調整前四半期純利益は69億3百万円(前年同期比58.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は54億4千3百万円(前年同期比48.6%増)となりました。

次に、モーターの用途別市場動向と販売状況についてご説明いたします。

① 自動車電装機器市場

売上高は271億6千4百万円(前年同期比7.9%増)と増加しました。重点強化事業である中型電装用途では順調な販売拡大が続くパワーウィンドウ用が増加するとともに、パーキングブレーキ、エンジン周辺機器及びシートベルトプリテンショナー用の販売も拡大しました。小型電装用途ではミラー、ドアロック及びヘッドライト用などの主要用途が増加し、新用途のグリルシャッター及びシフトパイワイヤー用も加わり販売が拡大しました。

② 民生・業務機器市場

売上高は98億6千3百万円(前年同期比1.4%増)と増加しました。インクジェットプリンター及びカーCDプレーヤー用における市場縮小が続きましたが、家電機器及び工具用の販売が堅調に推移し、増加しました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期末における総資産は、前連結会計年度末に対して100億3百万円減少し、2,483億8千4百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、配当及び自己株式取得による現金及び預金の減少67億6千7百万円、受取手形及び売掛金の減少10億7千8百万円などです。

負債合計は、前連結会計年度末に対して26億8千万円減少し、227億8千9百万円となりました。前連結会計年度末に対し変動の大きかった主なものは、未払法人税等の減少9億4千2百万円、その他の流動負債の減少18億2千9百万円などです。

純資産合計は、前連結会計年度末に対して73億2千2百万円減少し、2,255億9千5百万円となりました。自己株式(純資産の部のマイナス項目)が49億8千9百万円増加、為替換算調整勘定が28億9千万円減少しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

先進国においては、米国経済、欧州経済ともに引き続き堅調を維持するものと見込まれますが、米国新政権の政策、英国のEU離脱及び欧州各国における選挙など不透明な要因も多くあります。我が国経済については、緩やかな景気回復が続くものと見込まれます。新興国経済については、中国の景気は概ね堅調に推移してきましたが、その他の新興国も含め先行きには不透明感があり、全体としては低成長が続くものと予測されます。

当社グループの関連市場におきましては、自動車電装機器市場は、堅調な需要が継続し増加、民生・業務機器市場では、家電機器、工具及び法人向け事務機器の需要が横ばいで推移するものの、個人向けの精密・事務機器、音響・映像機器については市場縮小が継続し、期初見込みどおり減少すると予想しております。

このような状況から、連結業績予想については変更しておりません。また、配当予想につきましても変更ございません。なお、業績予想における為替レートは、1米ドル108円を前提としており、当初予想からの変更は行っておりません。

(注) 上記の業績予想に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づいております。業績は、今後の様々な要因により見通しと異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下のとおりであります。

- ・為替相場の変動
- ・当社の事業領域を取り巻く経済環境・需要動向等の変化
- ・新技術・新製品等の急速な技術革新
- ・銅・鋼材・レアアース等の相場の変動

ただし、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	122,477	115,710
受取手形及び売掛金	28,348	27,270
有価証券	499	—
商品及び製品	18,631	17,219
仕掛品	1,296	1,660
原材料及び貯蔵品	6,765	7,303
繰延税金資産	1,667	1,509
その他	5,292	3,557
貸倒引当金	△102	△161
流動資産合計	184,878	174,070
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	46,131	45,209
減価償却累計額	△26,675	△26,227
建物及び構築物(純額)	19,456	18,981
機械装置及び運搬具	49,387	49,209
減価償却累計額	△24,054	△24,374
機械装置及び運搬具(純額)	25,332	24,835
工具、器具及び備品	16,281	16,223
減価償却累計額	△11,900	△12,012
工具、器具及び備品(純額)	4,381	4,210
土地	6,197	6,648
建設仮勘定	4,966	6,353
有形固定資産合計	60,336	61,030
無形固定資産	1,163	1,137
投資その他の資産		
投資有価証券	10,504	10,688
繰延税金資産	488	496
その他	1,112	1,059
貸倒引当金	△95	△97
投資その他の資産合計	12,009	12,146
固定資産合計	73,509	74,313
資産合計	258,387	248,384

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成28年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,340	7,050
短期借入金	113	113
未払法人税等	2,462	1,519
賞与引当金	252	762
役員賞与引当金	145	29
繰延税金負債	65	14
その他	9,556	7,727
流動負債合計	19,935	17,215
固定負債		
長期借入金	56	56
株式等給付引当金	77	94
退職給付に係る負債	2,620	2,625
資産除去債務	13	13
繰延税金負債	2,476	2,550
その他	289	232
固定負債合計	5,534	5,573
負債合計	25,470	22,789
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,704	20,704
資本剰余金	20,579	20,579
利益剰余金	193,141	193,372
自己株式	△6,633	△11,623
株主資本合計	227,792	223,033
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,708	2,853
繰延ヘッジ損益	△472	△328
為替換算調整勘定	4,222	1,331
退職給付に係る調整累計額	△1,443	△1,405
その他の包括利益累計額合計	5,014	2,451
新株予約権	110	110
純資産合計	232,917	225,595
負債純資産合計	258,387	248,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
売上高	34,893	37,032
売上原価	23,768	24,644
売上総利益	11,125	12,388
販売費及び一般管理費	5,237	5,434
営業利益	5,887	6,953
営業外収益		
受取利息	78	83
受取配当金	28	31
スクラップ材料売却収入	159	186
その他	117	86
営業外収益合計	383	388
営業外費用		
株式関係費	13	10
為替差損	1,826	342
控除対象外消費税等	10	20
その他	40	36
営業外費用合計	1,890	409
経常利益	4,380	6,931
特別利益		
固定資産処分益	0	4
特別利益合計	0	4
特別損失		
固定資産処分損	14	32
特別損失合計	14	32
税金等調整前四半期純利益	4,366	6,903
法人税等	704	1,460
四半期純利益	3,662	5,443
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,662	5,443

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年1月1日 至平成29年3月31日)
四半期純利益	3,662	5,443
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,044	144
繰延ヘッジ損益	—	144
為替換算調整勘定	△7,343	△2,890
退職給付に係る調整額	43	38
その他の包括利益合計	△8,344	△2,563
四半期包括利益	△4,681	2,879
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△4,681	2,879
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、平成29年2月14日開催の取締役会決議に基づき、自己株式801,600株(取得価額4,999百万円)を取得いたしました。この結果、当第1四半期連結会計期間末の自己株式は11,623百万円となっております。なお、当該決議に基づく自己株式の取得につきましては、平成29年3月24日をもって終了しております。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、当第1四半期連結会計期間において、マブチモーターポーランドエスパーゾーを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(追加情報)

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報)

前第1四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,074	19,315	4,461	8,042	34,893	—	34,893
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,560	19,553	—	—	42,114	△42,114	—
計	25,635	38,868	4,461	8,042	77,007	△42,114	34,893
セグメント利益	2,485	3,183	35	358	6,063	△175	5,887

(注) 1. セグメント利益の調整額△175百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成29年1月1日至平成29年3月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	日本	アジア	アメリカ	ヨーロッパ	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,158	20,058	4,731	9,083	37,032	—	37,032
セグメント間の内部売上高 又は振替高	22,448	19,131	0	—	41,579	△41,579	—
計	25,606	39,190	4,732	9,083	78,612	△41,579	37,032
セグメント利益又は損失 (△)	2,879	3,543	△81	436	6,777	176	6,953

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額176百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。